

植物RIイメージング技術の開発と 農業への応用

Development of plant RI imaging technology and its application in agriculture

2025年3月17日(月) 13:30～16:30 (予定)

植物研究を対象としたRIイメージング技術を活用している作物生産や環境の修復に関する研究分野では、関心対象となる元素がどのように植物へ取り込まれ、植物体内に分布し、蓄積されていくのかを解明する強力なツールとなっている。本シンポジウムでは、農業への応用を見据えた最新の技術開発と応用研究を幅広く紹介する。

開会挨拶 河地 有木 (量研高崎研)

尹 永根 (量研高崎研)

RIイメージング技術で可視化する植物炭素利用の賢い戦略

田野井 慶太郎 (東大院農)

^{14}C 標識光合成産物動態解析とRNA-seqによる葉のシンクからソースへの移行に伴う遺伝子発現プロファイルの統合解析

古川 純 (筑波大生命環境)

放射線を活用した植物体内における金属元素の動態と局在の解析

菅野 里美 (名古屋大高等研)

微小領域のベータ線イメージングからわかるリン酸輸送・応答機構

中村 進一 (東農大生命科学)

高等植物の重金属動態制御機構の解明に向けたイメージング技術の利用

閉会挨拶 豊川 秀訓 (高輝度光科学研究センター)

企画：応用物理学会放射線分科会

世話人：山口充孝 (量研高崎研)、栗田圭輔 (原子力機構)